

〈解答〉

- ① 1 オ
 2 〔例〕 あずさの祖父が、毎日あずさのことを話しているから。(25字)
 3 Studying is
 4 〔例〕 She works at a hospital.
 5 a 〔例〕 I want to work in other countries in the future.
 b 〔例〕 I will study English harder.

配点 各2点 12点満点

〈解説〉

① 〈長文和訳〉

あずさは病院で医者として働いています。彼女は中学生の時、祖父といっしょに住んでいました。彼はパン焼き職人で、家で働いていました。彼は熱心に働き、自分の仕事が好きでした。彼女は彼のA ような 人になりたがっていました。

ある日、彼女が学校から帰ってくると、彼女の母が「おじいさんが入院したの」と言いました。彼女は彼に会いたかったのですが、母は「今は彼に会うことができません。彼がよくなったら、私たちは彼に会えるでしょう」と言いました。彼女はとても悲しかったです。

2週間後、彼女は両親と祖父に会いに行きました。彼は彼らに「私は入院するのはこれが初めてです。私はあと数日間寝ていなければなりません」と言いました。

次の火曜日に、彼女は放課後に再び祖父を訪ねました。彼女が彼と話していたとき、女性が部屋のB 中に 入って来ました。彼女は彼の医者でした。彼に何か言ったあと、彼女はあずさに言いました「あなたはあずささんですね？ ①私はあなたのことをよく知っていますよ。あなたのおじいさんが、あなたのことを毎日話しています。彼はあなたが来てくれるので、よくなってきていますよ」そして、彼女は部屋を出ました。あずさの祖父は「彼女はいつも私に親切だよ。あずさ、お前が医者になってたくさんの人を助けてくれることを願っているよ」と彼女に言いました。彼の言葉は彼女に感銘を与えました。

翌朝、彼の医者が彼の部屋にやって来ました。あずさは彼女にこう言いました。「いろいろと、ありがとうございました。私は医者になりたいので、一生懸命に勉強しなければいけません」彼女は、「それはいいですね。勉強することは重要ですが、他のことをすることも重要です。私は学生の際に病院でボランティアとして働いていました。そういうことをやってみてごらんください。あなたはよい医者になるでしょう」あずさはうれしくなりました。あずさの祖父はその日に退院しました。

その後、あずさはとても一生懸命に勉強し、ボランティアとして働きました。とうとう、彼女の夢は実現しました。

- 1 A 空所を含む文は、「彼女は彼のような人になりたがっていた」という意味。よって、「～のような」という意味を表す前置詞である like が入る。

B 空所を含む文は、「彼女が彼と話していたとき、女性が部屋の中に入って来た」という意味。よって、「～中に (へ)」という意味を表す前置詞である into が入る。

2 直後の1文の内容をまとめる。

3 文の後半は、動名詞 doing を主語にした「しかし、他のことをすることも重要だ」という文になっているので、空所の部分も動名詞（動詞の～ing形）を主語にした文だと考えられる。また、この部分は直前のあずさの「私はもっと一生懸命に勉強するつもりだ」という発言を受けているので、「勉強することは～だ」となるように空所に Studying is を入れると、うまくつながる。

動名詞は文の主語になることができる。ただし、主語になる動名詞が、3人称・単数扱いであることに注意する。

4 問いは「あずさは今、どこで働いていますか」という意味。

第1段落最初の文に、「あずさは病院で医者として働いている」とある。よって、

→ She works at a hospital. (5語)

と答える。

5 a 「ぼくは将来、他の国々で働きたい」

①肯定文：～します

②時制：現在形

③主語：私

動詞：～をしたい

主語は I。動詞は want に不定詞 (to + 動詞の原形) を続けて want to work とする。そこに修飾語句として「他の国々で」in other countries, 「将来」in the future を続ける。

まとめると、

→ I want to work in other countries in the future.

となる。

b 「英語をもっと熱心に勉強するつもりだ」

①肯定文：～するつもりです

②時制：未来

③主語：私

動詞：勉強する／～するつもりだ

「～するつもりだ」という意志を表す文なので、助動詞の will を使って、〈主語 + will + 動詞の原形～.〉の文を作る。

主語が書かれていないが、圭太のメモなので、主語は I とする。動詞は、study を使い、〈I will study ～〉まで完成させる。「英語」English を study の目的語として続ける。「もっと熱心に」は hard を harder と比較級にして表す。

まとめると、

→ I will study English harder.

となる。

なお、will は am going to と表すこともできる。